ふるさと再発見 第41回

Re:discovery Omihachiman

たてもの探訪②

まちや倶楽部（旧西勝酒造）主屋他8棟

今回紹介する建物は仲屋町中の「まちや倶楽部（旧西勝酒造）」の酒造りに関わる建物群です。

この建物群では、西勝酒造により平成20（2008）年頃まで、酒造りが行われていました。西勝酒造は、蒲生郡東古保志塚村（現在の東近江市市辺町）で享保2（1717）年に創業したと伝えられています。明治4（1871）年の廃藩置県に際し、いったん廃業しましたが、明治36（1903）年に8代目・西村勝治郎が当地にあった酒蔵を従業員ごと買い入れ、酒造業を再興し、近江八幡の最後の蔵元として酒造りを行いました。

現在、この酒造りに関わる建物群は、歴史ある建物の維持保全・再活用を通じてまちづくり活動を行う「まちや倶楽部」により再生され、宿泊施設などとして活用されています。

建物は、仲屋町通りに面して主屋が建ち、その背後に文庫蔵と多数の酒蔵群が連なります。このうち、主屋他8棟の建物が、今年の2月17日に国登録有形文化財に登録されました。

主屋は、明治前期に建てられた木造2階建て、瓦葺の建物で、虫籠窓と卯建を備え、前庭を配した1列2室の座敷を持ちます。前庭には、庭木が塀越しに通りに伸び、近江八幡の商家の特徴的な景観を形成しています。

まちや倶楽部（旧西勝酒造）　主屋

文庫蔵は、寛保元（1741）年に建てられた最も古い建物で、蔵人の宿舎として利用されました。

酒蔵群は、明治前期から昭和中期にかけて建てられた瓶詰所の中央蔵、洗米と蒸米の作業が行われた洗場、酒母づくりが行われた酛蔵、麹づくりが行われた麹蔵、仕込み作業が行われた南仕込蔵と通り蔵の土蔵が並びます。

南仕込蔵の奥にある北仕込蔵は、昭和34（1959）年に建てられた鉄筋コンクリート造および木造2階建て、瓦葺の建物で、仕込み作業に用いられました。2階の木造部分は、旧八幡公民館の体育館を移築したもので、小屋組みをトラスとし、壁をモルタルで仕上げるモダンな意匠をとります。

最も奥にある槽蔵は、明治44（1911）年に建てられた土蔵造の建物で、酒搾りが行われました。小屋組みをトラスとし、搾りを行う広い空間を作っています。

洗米から搾りまで酒造りの一連の行程に用いられた酒蔵群が、往時の面影を残したまま残る貴重な建物群といえます。

酒蔵群　南仕込蔵

広報おうみはちまん　令和4年5月号

編集・発行／近江八幡市総合政策部秘書広報課
〒523-8501 滋賀県近江八幡市桜宮町236
TEL：0748(33)3111　FAX：0748(32)2695
MAIL kouhou@city.omihachiman.lg.jp
WEB https://www.city.omihachiman.lg.jp

広報おうみはちまんは、各自治会を通じてお届けします。また、各学区コミュニティセンターや図書館などの公共施設、郵便局、金融機関、セブン-イレブン・ファミリーマート各店舗などに置いているほか、市ホームページやマチイロ、マイ広報紙などでもご覧いただけます。

Facebook　YouTube　Instagram　マチイロ　マイ広報紙　LINE

人口と世帯

令和4年4月1日現在
（　）は前月比

総数	81,845人	(-138)
男	40,209人	(-65)
女	41,636人	(-73)
世帯	34,761世帯	(+80)

※外国人住民（40か国・地域／1,582人）を含みます。